# 世界の気候と文化

名前

問1　世界の農業において、主要な穀物である小麦の栽培に適した自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれか。なお、比較対象として稲（米）の性質を考慮して答えなさい。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 気温が低く、降水量が少ない環境であっても栽培が可能である。
2. 成長期に高温多湿な環境を必要とするため、熱帯地域での栽培に限定される。
3. 寒さには強いが、稲よりも多くの水を必要とするため、湿地帯での栽培が一般的である。
4. 乾燥には極めて弱いため、年間降水量が2000mmを超える地域で主に栽培される。

問2　赤道付近から流れる海流と、南極付近から北上する海流が、それぞれ沿岸の海水温や環境に与える影響についての記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 赤道付近から流れる海流も、南極付近から北上する海流もともに暖流であり、どちらも沿岸の海水温を上げる。
2. 赤道付近から流れる海流は暖流であり沿岸の海水温を上げるが、南極付近から北上する海流は寒流であり沿岸の海水温を下げる。
3. 赤道付近から流れる海流も、南極付近から北上する海流もともに寒流であり、どちらも沿岸の海水温を下げる。
4. 赤道付近から流れる海流は寒流であり沿岸の海水温を下げるが、南極付近から北上する海流は暖流であり沿岸の海水温を上げる。

問3　アフリカ中部に位置するコンゴ民主共和国における日本の援助内容について、現地の地理的環境を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. サハラ砂漠の南下を防ぐための植林事業と、灌漑施設の整備による干ばつ対策
2. プレート境界における地震観測網の構築と、津波に対する防災教育の普及
3. 北米市場に近い立地を活かした輸出産業の育成と、都市部の防災インフラ整備
4. 世界有数の熱帯雨林を保護するための森林保全や、公衆衛生向上のための感染症対策

問4　熱帯に属する赤道付近の地域において、月別平均気温をグラフに表すと25度前後でほぼ一定の直線状になります。このように気温の変化が小さくなる理由として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 一年を通じて太陽の光を受ける角度が大きく、地表が受ける熱量の変化が少ないため
2. 暖流の影響を一年中受けることで、海水温とともに気温も一定に保たれるため
3. 常に強い偏西風が吹いているため、周囲の熱が分散され一定の気温になるため
4. 広大な熱帯雨林が日光を遮り、地表の温度上昇を抑え続けているため

問5　世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物（小麦）」であるものとします。（2020年 三重県公立入試 類似）

1. 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。
2. ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。
3. とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。
4. 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。

問6　世界の主要な茶の生産都市における年平均気温を調査すると、トルコのイスタンブールが14.7度、スリランカのコロンボが27.7度となっており、多くの生産地がこの範囲の気温を示しています。この状況から読み取れる茶の栽培条件に関する記述として、正しいものを選びなさい。（2020年 広島県公立入試 類似）

1. 茶の栽培には年間を通じて30度近い高温が必要であり、年平均気温が20度を下回る地域では育たない。
2. 茶の栽培は、比較的温暖な温帯から熱帯にかけての地域で行われるため、極寒の冷帯や寒帯には及ばない。
3. 茶は乾燥に強い性質を持っているため、気温さえ高ければ降水量のほとんどない砂漠地帯でも栽培できる。
4. 茶は温帯のみで栽培される作物であるため、年平均気温が25度を超えるような熱帯の都市では生産されない。

問7　南アメリカ大陸とアフリカ大陸の気候帯を比較すると、南アメリカ大陸は熱帯が約63.4%を占めており、アフリカ大陸の約38.6%に比べて熱帯の割合が非常に高い。このように南アメリカ大陸で熱帯の面積割合が大きくなっている要因として、最も適切な説明はどれか。（2017年 兵庫県公立入試 類似）

1. 赤道付近の大陸の横幅が広く、アマゾン川流域に世界最大の熱帯雨林が広がっているため
2. 大陸の大部分が温帯に属しており、農業に適した温暖な地域が広がっているため
3. アンデス山脈の影響により、大陸の西側にある乾燥帯の拡大が防がれているため
4. 大陸全体が低緯度から高緯度まで南北に細長く伸び、寒帯の面積が極めて小さいため

問8　カナダ北部をはじめとする北極圏の厳しい自然環境に適応し、伝統的に狩猟などを行って生活してきた先住民族の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 岐阜県公立入試 類似）

1. メスチソ
2. マオリ
3. アボリジニ
4. イヌイット

問9　西アジアから北アフリカの諸地域における宗教的特徴を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 複数の神を認める多神教が主流であり、社会階級制度などの構造に強く影響を与えている。
2. 唯一神アッラーを信仰し、聖典コーランに基づいた生活文化が根付いている。
3. ガンジス川などの聖地を中心とした信仰を持ち、牛を神聖な動物として尊んでいる。
4. 厳しい修行を通じて悟りを開くことを重視し、東アジアの国々で主に信仰されている。

問10　南アメリカ大陸の言語分布に関する資料では、ブラジルではポルトガル語が、それ以外の多くの国々ではスペイン語が主に公用語として使用されていることが示されます。このような地域ごとの言語の違いを生じさせた要因として、最も適切なものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 独立戦争の際に武器援助を受けた国の言語を採用したという経緯
2. 各国の主要な輸出品目が、どの言語圏の国と取引されていたかという経済的要因
3. アンデス山脈などの地形的障壁により、外部から伝わった言語が限定的だったため
4. その地域を植民地として支配していた宗主国の違い

問11　ある都市の気候統計において、月平均気温が一年中25度から30度の間で推移しており、5月から10月にかけて降水量が集中する一方で、11月から4月は極端に降水量が少なくなっています。このような気候の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 夏は高温で乾燥し、冬に一定の降水が見られる。
2. 雨季と乾季がはっきり分かれており、疎林と草原が広がる。
3. 一年を通して降水量が多く、密林が形成される。
4. 季節による気温の変化が大きく、一年を通して一定の降水がある。

# 答え合わせ・解説

| | | |
|---|---|---|
| 問1 | 答え 1<br>気温が低く、降水量が少ない環境であっても栽培が可能である。 | 小麦は稲と比較して、耐寒性と耐乾性に優れた農作物です。稲の栽培には一般に高温多湿な気候が必要ですが、小麦はより気温が低く、降水量の少ない地域でも育てることができるため、世界のより広範な地域に分布しています。 |
| 問2 | 答え 2<br>赤道付近から流れる海流は暖流であり沿岸の海水温を上げるが、南極付近から北上する海流は寒流であり沿岸の海水温を下げる。 | 赤道付近から流れる海流は暖流と呼ばれ、沿岸の海水温を上げてさんご礁の生育などに適した環境をつくります。一方、南極付近から北上する海流は寒流と呼ばれ、沿岸の海水温を下げるはたらきがあります。 |
| 問3 | 答え 4<br>世界有数の熱帯雨林を保護するための森林保全や、公衆衛生向上のための感染症対策 | コンゴ民主共和国は赤道付近に位置し、世界第2位の規模を持つ熱帯雨林が広がっています。この貴重な自然資源を守るための森林保全支援や、深刻な健康被害をもたらす感染症への対策が日本のODAの主要なテーマとなっています。干ばつ対策はより北の乾燥した地域、防災協力は地震リスクのある環太平洋地域などで重視される傾向にあります。 |
| 問4 | 答え 1<br>一年を通じて太陽の光を受ける角度が大きく、地表が受ける熱量の変化が少ないため | 地球の公転に伴って季節が生じますが、赤道付近は太陽の南中高度が一年中高いため、季節による受熱量の差がほとんど生じません。このため、月ごとの平均気温がほぼ一定になり、直線状のグラフを描くことになります。これに対し、緯度が高い地域では季節によって太陽の角度が大きく変わるため、気温の変動も大きくなります。 |
| 問5 | 答え 1<br>小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。 | 生産量と輸出量の統計が一致しないのは、その国における国内消費の規模が関わっているためです。中国やインドは人口が非常に多く、生産された小麦の多くが自国で消費されます。一方、ロシアやアメリカ、カナダは人口に対して生産量が極めて多いため、世界的な輸出拠点となっています。ちなみに、アメリカが生産・輸出ともに圧倒的なシェアを持つ作物は、主に飼料用として利用されるとうもろこしです。 |
| 問6 | 答え 2<br>茶の栽培は、比較的温暖な温帯から熱帯にかけての地域で行われるため、極寒の冷帯や寒帯には及ばない。 | 茶の生産地のデータを確認すると、年平均気温が約15度から28度の範囲に収まっています。これは茶が温暖な気候を必要とすることを示しており、年平均気温が著しく低い冷帯（亜寒帯）や寒帯は栽培の限界を超えていると考えられます。また、温帯のイスタンブールから熱帯のコロンボまで分布していることから、「温帯のみ」や「熱帯のみ」といった限定的な環境ではなく、温暖であれば幅広い気候帯で栽培されていることがわかります。 |
| 問7 | 答え 1<br>赤道付近の大陸の横幅が広く、アマゾン川流域に世界最大の熱帯雨林が広がっているため | 南アメリカ大陸は赤道が通る北部から中部にかけての陸地面積が非常に広く、そこに世界最大の流域面積を持つアマゾン川と広大な熱帯雨林が位置しています。そのため、乾燥帯の割合が高いアフリカ大陸と比較して、熱帯が大陸全体に占める面積比率が圧倒的に高くなります。 |
| 問8 | 答え 4<br>イヌイット | 北極圏という樹木が育たない極寒の地域で、アザラシなどの狩猟を行いながら生活してきた人々を指します。カナダ北部などに居住しており、かつては氷のブロックを積み上げた「イグルー」を住居として利用するなど、独自の文化を築いてきました。アボリジニはオーストラリア、マオリはニュージーランドの先住民族であり、メスチソはラテンアメリカにおける白人と先住民の混血の人々を指す用語です。 |
| 問9 | 答え 2<br>唯一神アッラーを信仰し、聖典コーランに基づいた生活文化が根付いている。 | 西アジアや北アフリカの国々の多くは、イスラム教を共通の文化的背景として持っています。一神教であるイスラム教では、神アッラーの言葉を記した聖典コーランが、礼拝や食事の決まりなど、人々の具体的な生活様式まで規定している点が特徴です。 |
| 問10 | 答え 4<br>その地域を植民地として支配していた宗主国の違い | 南アメリカの言語分布は、大航海時代以降のヨーロッパ諸国による勢力争いの結果を反映しています。15世紀末に結ばれた条約などに基づき、現在のブラジルにあたる地域はポルトガルが、それ以外の地域の多くはスペインが植民地として支配しました。この歴史的背景により、現在もそれぞれの地域で当時の宗主国の言語が公用語として受け継がれています。 |
| 問11 | 答え 2<br>雨季と乾季がはっきり分かれており、疎林と草原が広がる。 | 一年中気温が高いというデータから熱帯であることが判断でき、さらに降水量が特定の時期に集中し、別の時期に極端に少なくなるという記述は、サバナ気候特有の「雨季」と「乾季」の存在を示しています。この気候下では、樹木がまばらに生える「疎林」と長い草の「草原」が組み合わさった景色が特徴となります。 |